

令和7年9月5日  
山梨県福祉保健部健康長寿推進課  
課長 谷口 順一  
電話 055-223-1450 (内線 3100)

報道関係者各位

世界アルツハイマーデーに合わせたライトアップの実施について

山梨県では、9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせ、県庁別館等を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップし、認知症への理解の普及を図ります。

また、ライトアップ初日の9月17日(水)には、公益社団法人認知症の人と家族の会と、県庁別館南側にて、午後6時から点灯式を行います。

◆ライトアップの概要

- 1 日 時：令和7年9月17日(水)～24日(水) 期間中の午後6時～午後9時頃
- 2 場 所：県庁別館南側、ココリ北側壁面、甲府駅南口広場および信玄公像  
※ライトアップ期間は場所によって異なります。
- 3 カラー：オレンジ(認知症支援のシンボルカラー)
- 4 その他：点灯式当日の取材は、点灯式終了後、健康長寿推進課長がお受けします。

オレンジ色の由来：江戸時代の陶工 酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色からインスピレーションを得て作り出した赤絵陶器が、海外に輸出され、高い評価を得たように、日本発の認知症サポーターが世界のいたるところで、広く知れ渡ってほしいとの思いから認知症支援のシンボルカラーとなりました。  
また、温かみを感じさせる色であることから「手助けします」という意味も持つといわれています。

世界アルツハイマーデーとは

1994年9月21日、スコットランドのエジンバラで第10回国際アルツハイマーデー病協会国際会議が開催され、会議の初日であるこの日を「世界アルツハイマーデー」と宣言し、アルツハイマー病等に関する認識を高め、世界の患者と家族に援助と希望をもたらすことを目的にしています。  
また、9月をアルツハイマー月間として世界中で啓発活動が行われています。

